

空き家を活用した地域再生

甲南高校 LG08 東優羽 中山心陽 谷優花

研究背景・目的

鹿児島での問題

2015～2023年の

65歳以上の人口割合(高齢化率)

全国：2.5%増 鹿児島県：4.5%増

待機児童率⇒全国で最も高い

空き家や廃校の増加

少子高齢化、待機児童、空き家問題

空き家や廃校の改善により
防犯対策かつ地域の活性化



目的

- ①鹿児島県の生産年齢人口を増やす
- ②鹿児島県への移住者を増やす
- ③空き家を活用し防犯上の不安を減らす

↓
空き家を用いて子育て世代を誘致

研究方法

- ①テキストマイニングを用いて成功事例の特徴を見つける (ex.地域再生事業の成功事例など)
- ②子育て支援施設としての活用方法を考える
- ③その施設をきっかけに鹿児島への移住者を増やす案を考える



考察

- ・地域の魅力を活かしたりノベーションやコミュニティの再生
- ・観光客増加による経済的な効果



今後の展望

この案の実現化に向けて企業や市に協力してもらい鹿児島の活性化を目指していきたい。

結果

①テキストマイニング (右図)

空き家問題以外の社会問題を解決できる可能性大



②子育て支援施設の考案

Qどんな場所？A.子供達が高齢者と触れ合う場

Qどんな活動？A.一緒に伝統遊びや伝統料理を体験しながら子供を預かる

具体的な考案



改善前
改善ポイント💡
・遊び・伝統料理の種類
・参加費や開催日

改善後
遊び・伝統料理：季節に合わせる
料理
遊び
例) 1,2月⇒七草粥・おせち
3,4月⇒ちらし寿司
対象年齢3～10歳 参加費500円程度

③移住者の誘致のための案

「移住体験ツーリズム」・鹿児島県への移住検討者が家族で移住の体験をし、移住生活のイメージを持たせる

鹿児島に住む、子どもたちと移住検討者がふれあい移住をより前向きに検討してもらえるような「移住体験」ツーリズム

鹿児島県への移住希望者を受け入れることでより具体的に移住生活を想像し移住に対する不安を軽減させる

費用・期間、使用方法など細かく設定することで実現化に向け具体的に考案

- 費用**
施設の維持費などを賄える程度 (期間によって変更)
- 期間**
一週間から二週間程度 鹿児島を十分に楽しんでもらえるまで!
- 施設の管理、スタッフ**
ボランティア団体、または観光に関する企業に依頼
- 使用方法**
SNS等を用いて宣伝、若年層が使いやすいネット予約を利用

参考文献

- <https://www.city.kagoshima.lg.jp/>
鹿児島県公式ホームページ
- <https://www.city.kagoshima.lg.jp/kodomofuku/kodomonohinnkonn/documents/6kagoshimasinokodomotatinogennjou.pdf>
鹿児島市子どもの現状
- <https://textmining.userlocal.jp/>
テキストマイニング